

2012年6月21日
株式会社じぶん銀行

じぶん銀行による「中国元預金の動向調査」の実施について

株式会社じぶん銀行(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:戸原健夫、以下「じぶん銀行」)は、2011年10月より邦銀で初めて※1取扱いを開始した中国元預金の口座数が10,000件を突破したことを受け、「じぶん銀行の中国元預金の動向調査※2」を実施しました。主な調査結果は以下のとおりです。

【中国元預金保有顧客の属性について】

1. 男性比率は79.3%となっており、男性からの支持が高い。
2. 年代別では、30代から40代で66.1%となり、大半を占めている。
3. 居住地域は、首都圏を中心に全国に幅広く点在している。

【中国元預金保有のスタンスについて】

1. 関心をもったきっかけは、最も多いのが「切上げなど為替値上がりへの期待」で69.0%。次いで「中国経済の成長性への期待」が51.8%となった。
2. 運用目的で最も多いのは、「分散投資」で51.6%、次いで「長期運用」が32.4%。想定運用期間は、「5年以上」が最も多い。
3. 中国元預金顧客の75.0%が、今後も継続して購入する意向を示した。

【総括】

中国元預金については、30代から40代の関心が高く、運用のスタンスは、「分散投資」、「5年以上」、「継続購入」が主流であり、「切上げなど為替値上がり」、「中国経済の成長」への期待が強い。

本件の詳細は、別紙をご参照ください。

※1 ダイヤモンドザイ編集部調べ(2011年9月1日時点)

※2 本調査は、じぶん銀行の中国元口座保有顧客約10,000人を対象として、2012年4月17日～5月16日にインターネット調査を行ったものです。

【調査概要】

- ・調査期間：2012年4月17日～5月8日
- ・調査対象：じぶん銀行の中国元口座保有顧客（個人）
- ・調査方法：インターネット調査
- ・調査地域：全国

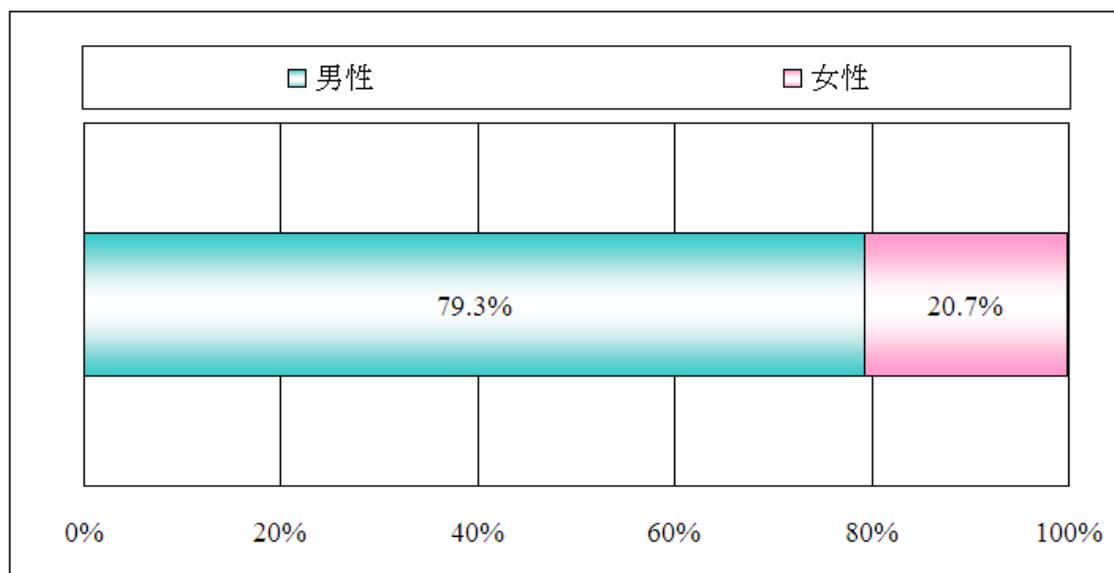
※ 属性データについては2012年3月31日時点のもの

【中国元預金保有顧客の属性について】

1. 男女別構成比

- ・ 男性比率が79.3%となっており、男性からの支持が高い。

図1 中国元預金口座保有顧客の性別



2. 年代別構成比

- ・ 年代別に見ると30代が最も多く38.1%、次いで多い年代が40代で28.0%、合計で66.1%となり、30代から40代が大半を占めている。
- ・ さらに男女別、年代別に全体に占める構成比を見ると、30代男性が30.1%と最も多い。次いで40代男性が23.1%となっており、30代から40代男性で53.2%と大半を占めている。

図2 中国元預金口座保有顧客の年代別構成比

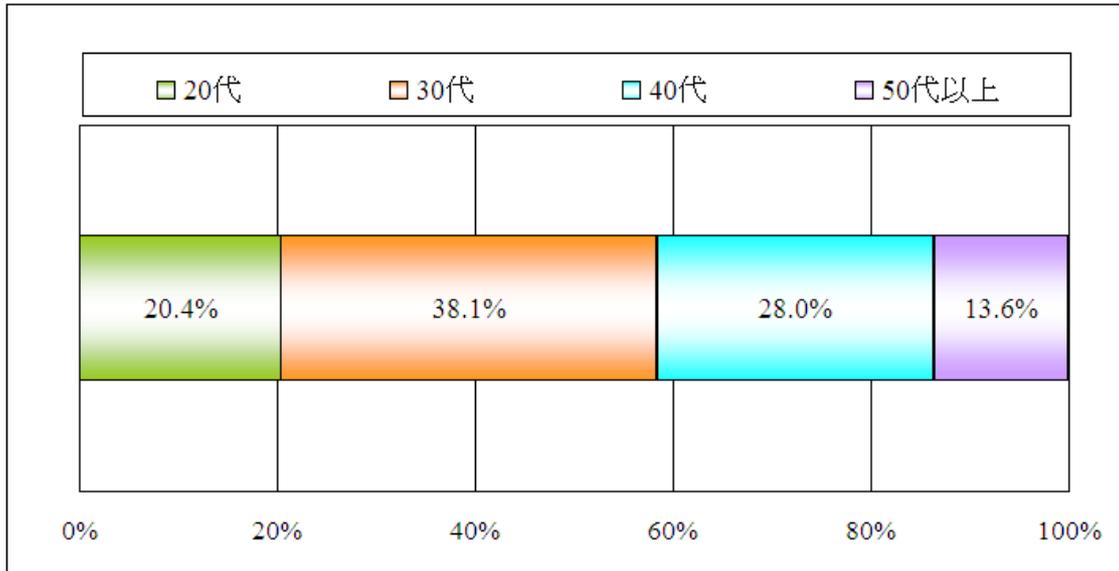
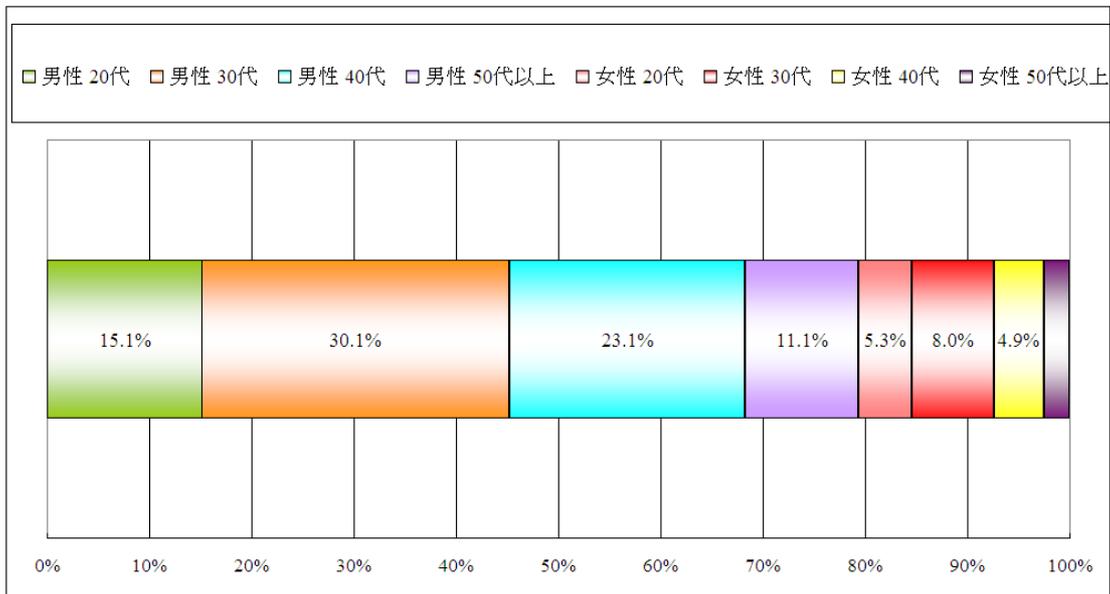


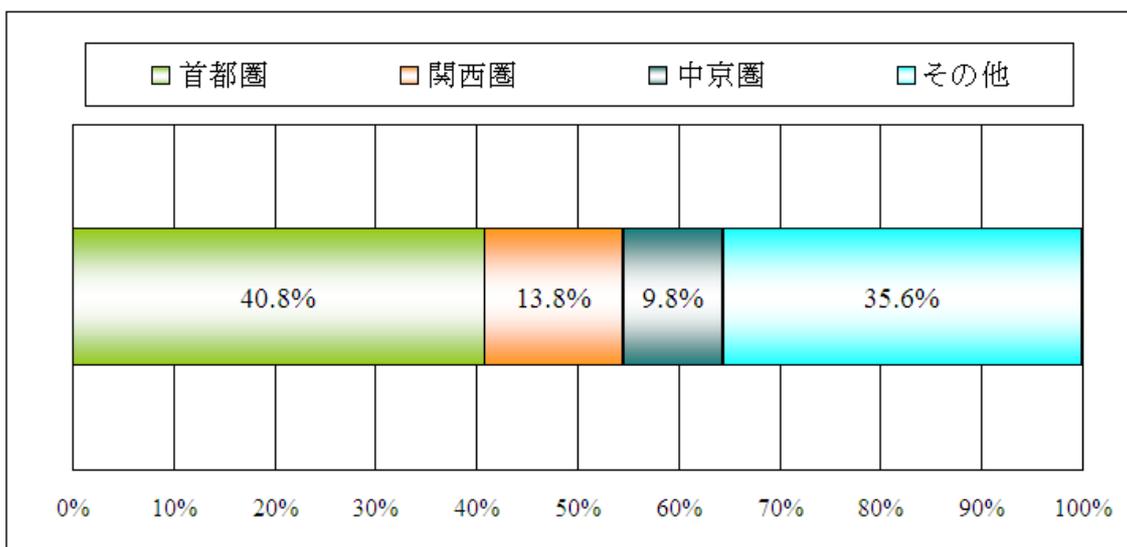
図3 中国元預金口座保有顧客の男女別年代別構成比



3. 居住地域

- ・ 居住地域で最も多いのは首都圏で 40.8%。一方、首都圏・関西圏・中京圏以外の地域も 35.6%であり、全国に幅広く点在。地域を問わずニーズがあることが分かる。

図 4 中国元預金口座保有顧客の居住地域

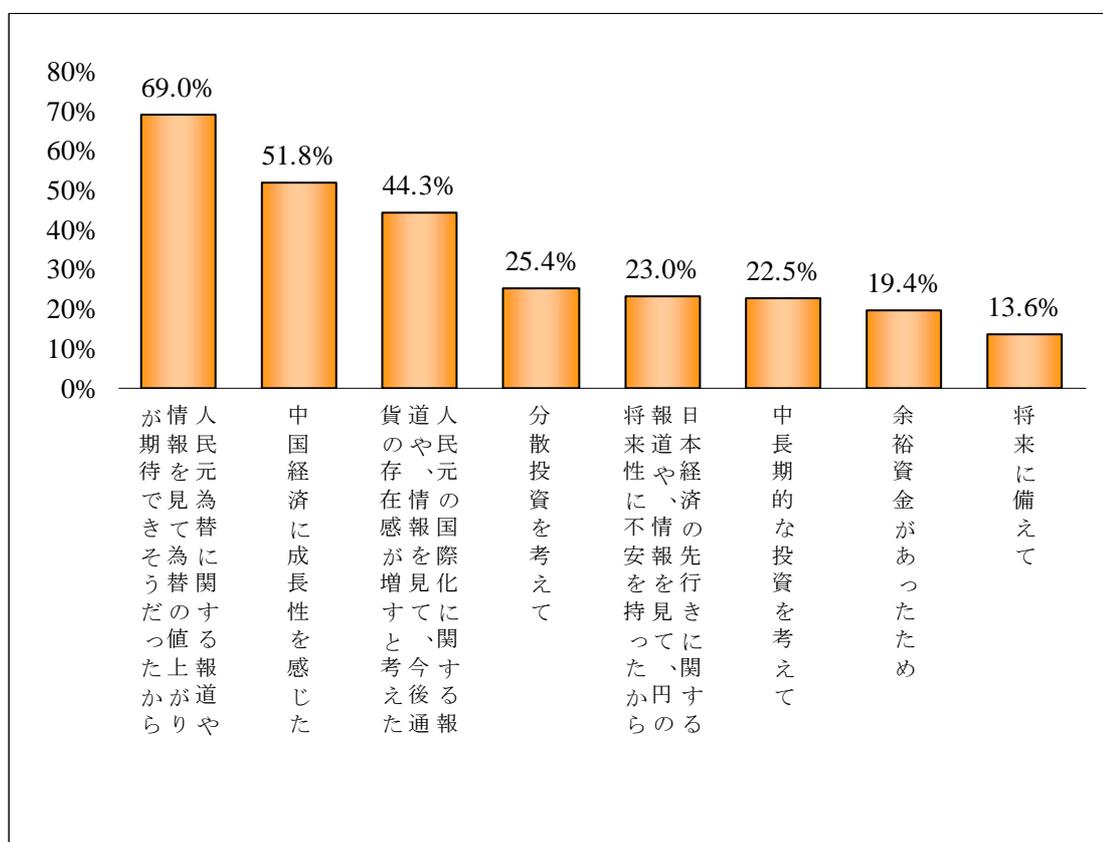


【中国元預金保有のスタンスについて】

1. 関心をもったきっかけ

- ・ 最も多い回答が「切上げなど為替値上がりへの期待」で 69.0%。次いで「中国経済の成長性への期待」が 51.8%となっている。
- ・ 多くの中国元預金顧客は、ニュースなどの報道から「中国経済への成長性」、「人民元が通貨として存在感が増していくと考えられる」と感じ、中国元預金に関心を持ったと回答している。

図 5 中国元預金顧客が中国元に関心をもったきっかけ(上位 8 項目)



2. 運用目的等

- ・ 中国元預金の目的は、「分散投資」が 51.6%でトップとなっており、次いで「長期運用に適した商品と考えたから」が 32.4%、「金利が魅力的だから」が 28.8%と続いている。
- ・ 想定運用期間で最も多いのは、「5年以上を想定している」。

図6 中国元預金顧客の預入目的(上位8項目)

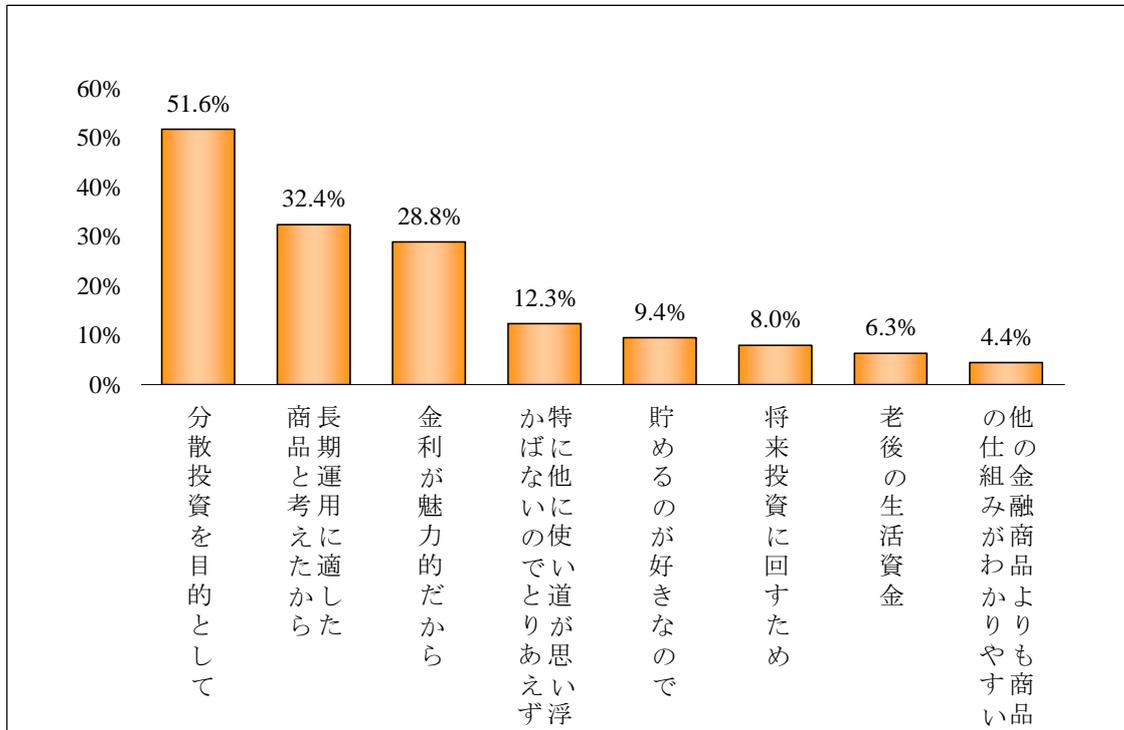
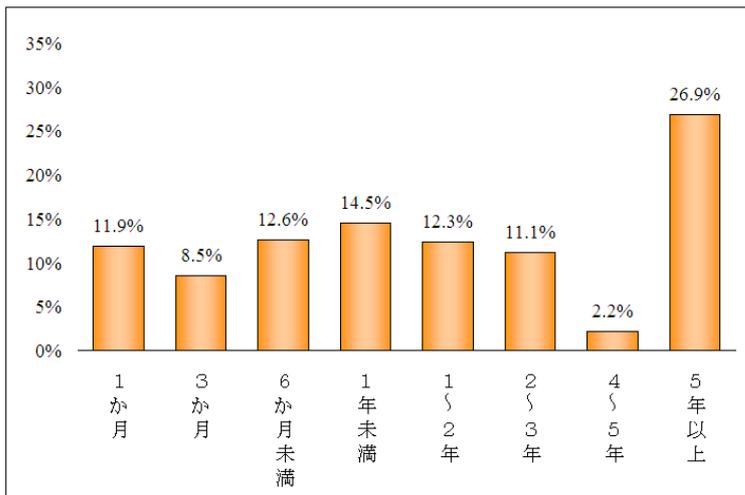
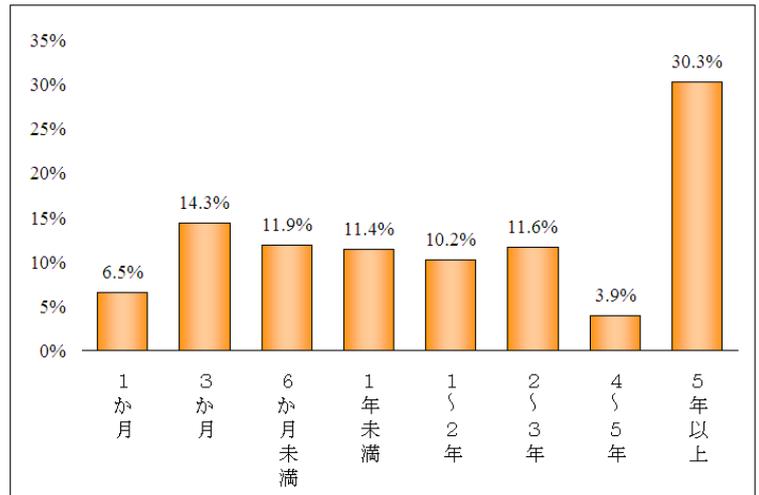


図7 中国元預金の想定運用期間

中国元普通預金



中国元定期預金



3. 追加購入意向

- ・ 中国元預金顧客の 75.0%が、今後も継続して購入する意向を示した。

図 8 追加購入意向

